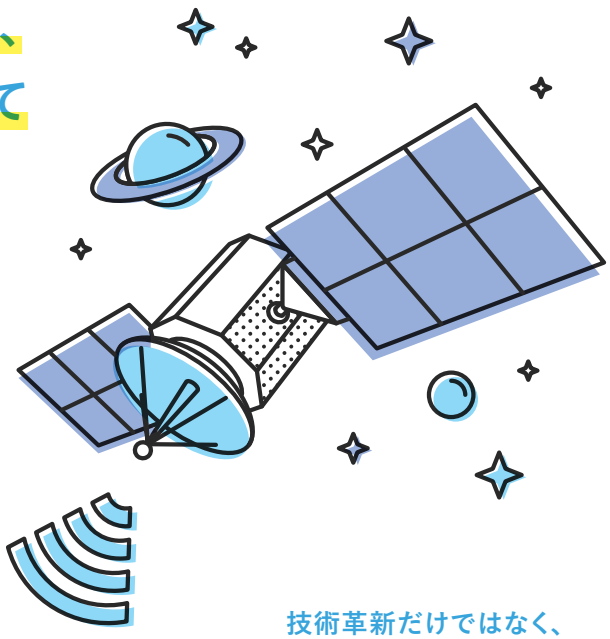
MEIJO Q&A

理工学部 メカトロニクス工学科

Q 自動運転の自動車ってほんとうに普及するの？

まだまだ課題はありますが、近い将来の実用化に向けて着実に進んでいます。



人工衛星も自動運転に貢献しています。

スマートフォンやカーナビなど、位置情報を取得するために使われているGPS。これはアメリカで運用されている衛星測位システムのこと。現在、さまざまな国が独自のシステムを導入していて、日本でも2018年11月に日本版GPSとなる準天頂衛星システム「みちびき」も運用が開始されました。近年さかんに研究・開発が行われている自動車の自動運転にも、安定した高精度な位置の情報の取得が必要不可欠です。「みちびき」をはじめとした衛星測位システムの高精度化は、自動運転の実用化に大きく貢献をするでしょう。

技術革新だけではなく、明確なルール作りも重要。

今後、自動運転の技術的な発展は当然期待できます。しかし、実用化に向けては技術だけではなく、地域社会や人びとの理解・賛同を得て受け入れられる自動運転のためのルール作りなども非常に重要です。たとえば、事故が起こった場合の責任はどこにあるのか、道路インフラはどうするのかなど、さまざまなことを考えていかなければなりません。これからさらに技術革新が進み、世間一般の方の理解が得られれば、自動運転はどんどん広がり、より豊かな生活が訪れると考えています。

目黒 淳一 先生

Junichi Meguro

修士課程の段階では「なにがやりたいか」が明確でなかったものの、指導教員や共同研究先の企業の方から博士課程に誘われたことがきっかけで、研究の道へ。得意なことを伸ばし、それを仕事にできたことは幸運でしたね。

私の宝物

幼児の頃に夢中になっていた絵本。

「きいろいのはちょうちょ」と「まどからのおくりもの」の2冊。単純におもしろい内容なのですが、ものごとに先入観を持ってのぞんではいけないという研究にも通じる内容であると感じています。

「きいろいのはちょうちょ」「まどからのおくりもの」出版社：偕成社／著者：五味太郎